



2015年11月27日

株式会社 ヴィンクス

新製品『SoftWareCAT』の販売を開始

～POS上で各種決済端末と同等の操作が可能に～

流通・サービス業向けパッケージ・ソフトウェア開発などを行う株式会社ヴィンクス（本社：大阪市北区、代表者：代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉、以下「ヴィンクス」という）は、POSシステムと連動する新たな製品として、2015年11月27日より『SoftWareCAT』を発売致します。

これまでのビジネスを通じて培った知見を活用し、店舗運営の省力化、店舗への新規決済手段のスムーズな導入や導入コストの低減が出来る製品として『SoftWareCAT』を開発致しました。

1. 製品概要

『SoftWareCAT』は各種決済サービス（*1）とPOSシステムとをつなぐソフトウェア製品です。最小限のカードリーダーや非接触ICリーダー・ライタを接続するだけで決済手段を提供します。支払時の操作に必要な画面や決済センターとの通信インターフェースを備えており、POSの画面上で決済専用端末の操作を行う事が可能になります。

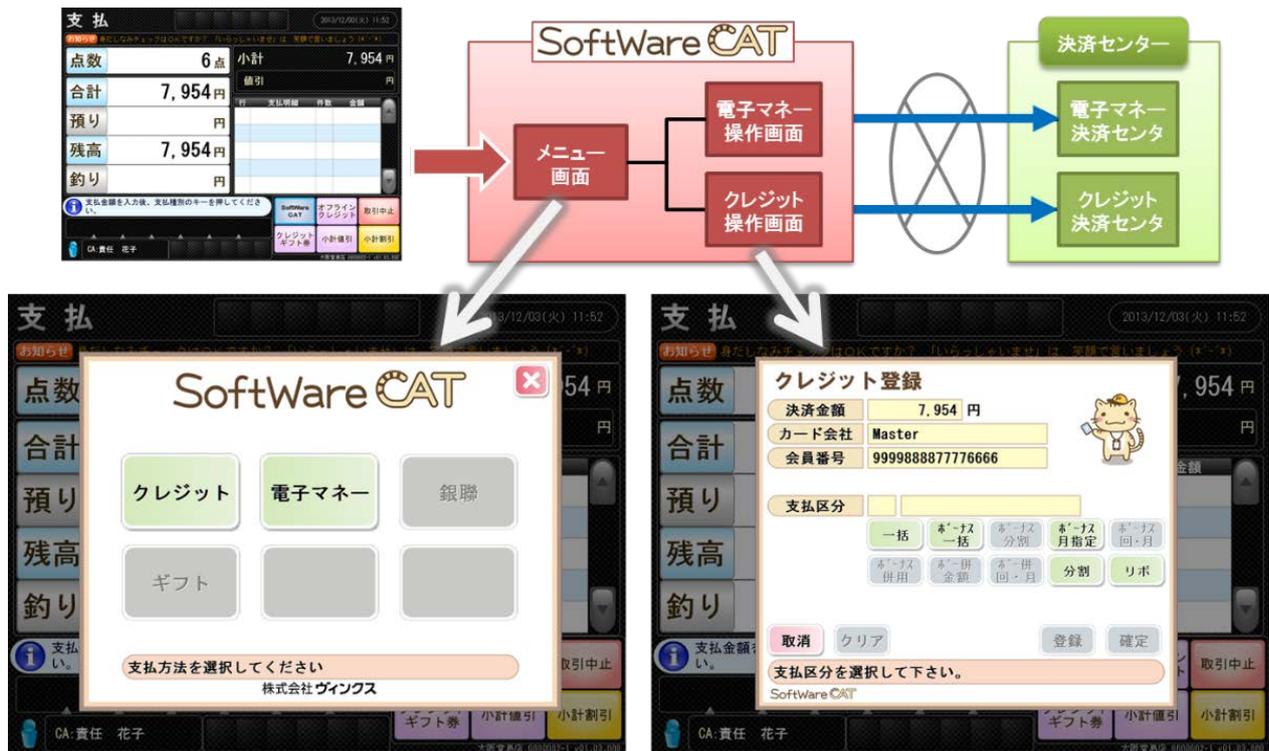
またヴィンクスのPOSパッケージ『ANY-CUBE®』シリーズとの連動機能を標準で備えており、すでに『ANY-CUBE®』を導入いただいている店舗では、より手軽に『SoftWareCAT』を導入いただけます。

2. 製品導入のメリット

お客様への利便性訴求や競合店対策により、複数の決済手段（各種カード・電子マネー等）の利用ニーズが高まる中、決済手段が増えていることがレジ業務の負担となっております。本製品をご利用頂く事でそれらの課題を解決します。

- ① 最小限の決済端末で各種支払操作が可能なる事から、端末コストの負担軽減、省スペース化によるレジ廻りスペースの有効活用が可能です。
- ② 各種決済サービスとの連動機能を内蔵している為、各種決済サービス毎のPOSシステム連動対策費用が不要です。新たな決済手段が必要な場合でも、ソフトウェアをバージョンアップする事で対応可能であり、バージョンアップはソフトウェアの配信による自動アップデートが可能なる為、短期間・低コストで店舗への展開が可能です（*2）。
- ③ 『SoftWareCAT』はPOSシステムと各種決済サービスを連動させる仕組みの為、非連動型の仕組みにあるような決済端末とPOSへの2重入力はありません。入力ミスによる違算発生を防止します。
- ④ 異なる決済手段であっても、POS上画面の操作という基本操作は変わりません。レジ担当者に対する教育の簡素化、レジ操作時の負荷が低減されます。
- ⑤ 本リリースバージョンでは、各種電子マネー決済とクレジット決済に対応しています。今後、銀聯カードやハウス電子マネーへの対応を進めると共に、デジタルウォレット等の多様化する決済手段への対応を進める予定です。

3. 画面イメージ・操作イメージ



POSの支払い画面にて『Software CAT』呼び出しボタン押下する事によりメニュー画面が起動します（左下画面）。その後、支払方法に応じた画面で決済操作を行って頂きます（右下画面はクレジット決済時の画面）。

※上図のPOS支払い画面は、ヴィンクスのPOS製品であるANY-CUBE®の例です。

4. 当りリリースに関する問合せ先

株式会社ヴィンクス

営業本部 営業推進部 大矢

TEL : 03-3846-5470

お問合せフォーム : https://www.vinx.co.jp/contact/form_eigyof.html

(*1) ...

本リリースバージョンの決済サービスへの対応状況は「4. 当りリリースに関する問合せ先」までお問い合わせください。

(*2) ...

初期導入に向けての手続きや、決済手段を増やす場合の進め方については、「4. 当りリリースに関する問合せ先」までお問い合わせください。

以上